

# 雨漏り直して！ 請願 賛成討論

請願 第6号（6月議会）

みんなの森 ぎふメディアコスモス

## 不具合等対策特別委員会の設置を要望する請願

6月議会最終日の25日に、松原のりかず は標記請願第6号の賛成討論を下記のとおり行ないました。請願に対しては、反対意見が複数出され、不採択でした。しかし、議会後の7月5日2箇所の雨漏りが発生（うら面に資料）新聞報道されました。請願に反対意見を発言された議員の方々の心中はいかに？ と思うところです。

### 討 論

本請願は、建築3年にして、雨漏り等の不具合が30回以上現れた、建築費を約60億円も費やした岐阜市の財産・建築物に係り、出された請願です。

市民の請願の思いは「しっかり、雨漏りを直してほしい」「税金の無駄遣いとならないようにしてほしい」「市民の財産を守ってほしい」との願いです。

そのために、岐阜市議会に「みんなの森 ぎふメディアコスモス不具合等対策特別委員会」を設置することを求めています。特別委員会で、しっかり原因を調べ、解決策を出してほしいとの願いです。

本年6月20日提出の市民参画部資料に寄れば、本年5月、つまり先月ですが、5月3日、ついに1階に雨漏りが発生しました。「2階テラスから鉄骨柱をつたって1階コンビニエンスストア床面に落ちた雨水を確認」と報告されています。

この雨漏りに関する報告が先月22日に受理されています。記載の原因は外壁鋼板の熱伸縮による変形により防水層に亀裂を生じて浸水。と報告されています。対策は、防水層が鋼板の熱伸縮に影響を受けないために鋼板上部に絶縁材を貼り、その上に防水層を施工するという報告です。

鋼板の熱伸縮は施工時から当然予測可能な事象であり、設計ミス・施工ミスの疑いがあります。設計者・施工者の報告をただ受けるだけでなく、不具合対策を通じて設計者・施工者の責任を追及しなければなりません。

建築1年目の田中文教委員長、2年目の信田文教委員長は、その任期中に設計者・施工者を文教委員会に呼んで調査をおこないました。

**うら面につづく**

連絡先 市議会議員 松原のりかず 岐阜市沖ノ橋町1-21 でんわ 253-2500

## おもて面からつづき

質疑の中で、戸田建設は業者の主張する「夏型結露」について、「メディアコスモスのような広い建築物での前例はない」と認めました。つまり、戸田建設の建築経験からも異常な現象が起きている現在です。業者の主張する「夏型結露」ではなく「単なる雨漏り」である事を突き止めることは重要です。

2回の質疑で「戸田建設の重要な答弁」が出ています。しかし、3年目の文教委員会（委員長・公明）は、「覚書」に対する業者の見解を聞く機会も無く、設計者も施工者も委員会への出席を求めることなく任期を終了しています。

瑕疵担保期間の期日が残り1年に迫った現在。市議会の責任として特別委員会を設置して全会派参加のもと、解決策を究明する事は岐阜市民の願いです。本請願は極めて重要な議案であり、議員各位の御賛同をお願いし賛成討論といたします。

松原のりかず 2018年6月25日 6月議会最終日

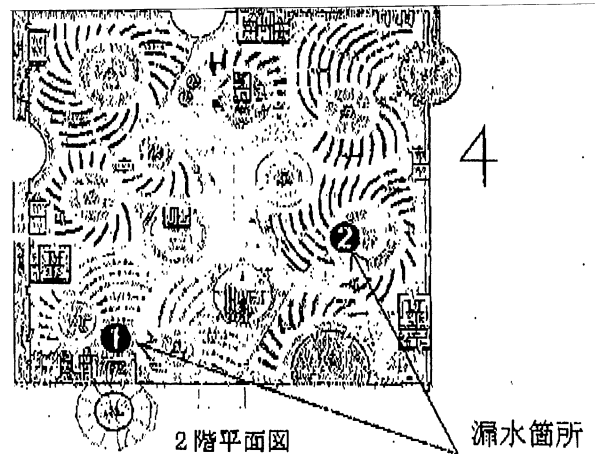
※ 請願に自民、公明、市民クラブ各会派、丸山、浅野、和田各議員は反対されました。

## まだ、「漏水」と書く岐阜市役所

7月5日の市民参画部の発文資料（右）です。5日午後2時半～5時半ごろに2箇所、①2F児童カウンター前と、②ゆったりグループ内に漏水。と報告。5日までの豪雨の後であり、結露とは思えないので、「雨漏り」と書いても良いのでは？

何に、遠慮するのか？

新聞では31回目となっている。



松原のりかず  
☎058-253-2500